

抗がん剤治療を受ける患者さんとそのご家族(介護者)の 安全な管理について



抗がん剤は投与後しばらくの間、便や尿に残ります。便や尿などに直接触れても健康に害を及ぼすようなことはまずありませんが、できる範囲で結構ですので以下の対策をお取りください。

対策を取る期間について

- 抗がん剤投与後2日間、対策をお取りください。3日目以降は特別な対策は必要ありません。
- 内服の抗がん剤などで連日服用する場合は、最終内服から2日間下記の対策をお取りください。

日常生活の注意

- 男性の方も、便座に座って排尿してください。
- 尿がこぼれた場合は、トイレトペーパーでふきとった後、水に流せるトイレクリーナーなどで掃除してください。
- 使用後のトイレは、トイレのふたをして大で水を流してください。
(水圧が不十分な場合は2回行う)
- 出血した場合はトイレトペーパーできれいにふきとりトイレに流してください。
- トイレの後や血液が手に付いた場合は石鹼で手をよく洗ってください。



排泄物(尿,便),嘔吐物について

- ストーマ用品やオムツなどの処理は手袋を着用して行ってください。ビニール袋に入れ、密閉して一般ごみとして廃棄してください。その後石鹼で手をよく洗ってください。
- 排泄物が皮膚についたら、直ちに水道水で洗い流し、石鹼で洗ってください。
- 排泄物、嘔吐物の付着部位に異常が現れたらすぐに診察を受けてください。



寝具、衣類等の取扱い

- 基本的に抗がん剤治療を受けている患者さんの洗濯物は汚染が無ければ、通常の洗濯物として扱って構いません。
- 対策が必要な期間内に排泄物、嘔吐物で汚れた洗濯物は他の洗濯物と分けて、通常の洗剤を用いて2度洗濯してください。
- 汗は通常の量では対策はいりませんが、大量の汗をかいている場合は上記の対策をお取りください。



内服抗がん剤の取扱い

- ご本人が内服する場合は、内服後石鹼で手をよく洗ってください。
- 内服の補助をされる方は、手袋や紙コップを使い、素手で薬に触れないようにしてください。薬の包装は、ビニール袋に入れて捨ててください。

